

はまY_{YOU}

Vol.
34
2016.冬号



晴天の下で秋祭りが開催されました

CONTENTS

理念・基本方針……………	2
病院機能評価の認定を受けました…	2
徒然のつぶやき……………	3
冬の感染症対策について……………	4～5
運動負荷心電図検査を開始します…	6～7
………	
院内保育所より ～敬老の日にかわいい子供たちがやってきました～…	8
各部署から一医療の質管理室のご紹介……	8
秋祭りを開催……………	9
研修会を開催しました……………	10
………	
管理栄養士のおすすめレシピ……………	11
患者さまからの声……………	11

●白浜はまゆう病院 外来診療担当表

耳鼻咽喉科外来

診療日 / 木曜日 午後

受付時間 / 午後2時00分～
午後4時30分

診療時間 / 午後2時30分～
午後5時00分

担当: 担当医
(和歌山県立医大)

眼科外来

診療日 / 水・金曜日 午後

受付時間 / 水 午後1時30分～午後3時30分
金 午後1時30分～午後4時30分

診療時間 / 水 午後2時00分～午後4時00分
金 午後2時00分～午後5時00分

いのうえ あきひろ いのうえ きくひこ
担当: 水 井上 明宏 医師 井上喜久彦 医師
 いむら りょうこ
 金 井村 良子 医師



薬剤師・看護師 募集中
作業療法士・言語聴覚士

白浜はまゆう病院は、夜間・休日を問わず
「365日・24時間の救急医療」に対応しています。



公益財団法人日本医療機能評価機構 認定施設複合病院(一般病棟・
リハビリテーション病院・慢性期病院)機能種別版機能評価項目3rdG: Ver.1.1

理念

私たちは、地域に根ざした医療機関として、誠実さと思いやりをもって、質の高いサービスを提供し、健康・福祉のレベルの高い地域づくりに努めます。

基本方針

1. 利用者の権利の尊重

私たちは、健康増進から看取りまで、利用者の皆様の気持ちや権利を大切にした医療とケアを提供します。

2. 地域に開かれた存在

私たちは、24時間いつでも、誰でも、困った時は気軽に受診・相談していただける、地域に開かれた医療機関・サービス提供機関を目指します。

3. 協力と連携

私たちは、院内各職種が手を携え、地域その他機関とも協力連携し、健康増進・診断と治療・リハビリテーション・看取りまでの一貫した包括的な地域医療と福祉を提供します。

4. 利用者とのパートナーシップ

私たちは、患者・利用者の皆様と手を携え、安全で質の高い医療・ケアを提供します。

5. 事故・災害への対応

私たちは、大規模な自然災害や事故に対応できるように、普段から備えを強め、いざと言うときに頼りになる病院を目指します。

6. 質の維持と改善

私たちは、常に研修を行い、時代の水準を維持するとともに、お互いに注意し合い、サービスの質の向上に努めます。

7. 観光地の病院としての対応

私たちは、観光客の人々が安心して訪れられるよう、不慮の事故や病気に対しての診療体制を整備します。



病院機能評価3rd G:Ver.1.1の認定更新

病院機能評価本部会議 事務局 峰本 大路

2016年2月、病院機能評価3rd G:Ver.1.1の認定更新の審査を受審し、一般病院・リハビリテーション病院・慢性期病院において、認定をいただきました。当院としては4度目の更新となりますが、「医療環境ならびに受審病院のニーズの変化を踏まえた認定の枠組みと運用の発展的変更」と「評価内容の重点化」を基本コンセプトとした、新たな病院機能評価としては初めての受審となりました。

日頃、私たちが提供してきた医療サービスが、一定の水準を満たしていると認定されたことを非常に嬉しく思っております。今後も、利用者の皆様および職員に対して、安心・安全な病院であり続けるように、そして、地域に根ざした医療機関として、信頼・納得の得られる質の高い医療サービスを提供すべく、全職員による努力を重ねていきたいと思っております。



徒然のつぶやき

—白浜にお世話になって11年—



白浜はまゆう病院 副院長
國部 久也

院外情報誌発行にあたって、事務局より投稿を頼まれました。
二つ返事でOKを出しましたが、いざ内容を検討してみても題材によっては愚痴が多くなるような感じがして悩みましたが、白浜はまゆう病院に赴任してから11年が経とうとしています。そこで少し今までを振り返ってみようと思います。

平成19年1月1日付で白浜はまゆう病院に赴任してまいりました。

まだその頃は旧病院で、玄関前の蘇鉄の木が印象的でした。暖かい地という感じで赴任してきましたが、海からの吹く風が意外に強くて『寒い〜』が第一印象でした。

病院のスタッフの皆さんはいまでもそうですが、フレンドリーで、着任から仕事には支障なく入れました。

前任地の富山では分娩に対応しながらの産婦人科医療にオールラウンドで対応していたので、あまり自分のことをゆっくり考える時間はなかったような気がします。白浜はまゆう病院に赴任してからは少し時間的に余裕ができたので、これから産婦人科医師としての第2ラウンドをどうしようかなと考えたものでした。

この地域の産婦人科医療は日本の産婦人科医療の縮図のような状態で、特に産科医療に関しては状態はひどく、このままではお産難民が出てくるのではと冷や冷やしました。幸い紀南病院と地域の開業医の先生方の献身的な医療のおかげで、地域の皆さんは安心してこの地域での出産が可能な状態が保たれています。

この11年間、分娩には直接タッチはできていませんが、妊婦検診をコツコツと実施し、地域の開業医の先生の応援に積極的に対応することができました。

1人婦人科医なので、定期的な手術が実施できないことが悔しいですが、婦人科検診を積極的に行い、子宮がん検診と乳がん検診を同時に実施できることで、人間ドック・健診センターの協力の元、地域で一定の評価はしていただいていると思います。

何か雑多な感想文のようになってしまいましたが、この11年間で感じた課題を上げさせていただきます。

①とにかく人口の増加!!

特に地域での高齢化は加速度的に進んでおり、老々介護も多々認め、このままでは共倒れの状態です。この地域に若い力を導入できるような策を早急に考えなくてはいけないと思います。そのためには若い人が移住しやすい雇用の創出と居住環境の整備を地域の皆さんと知恵を絞っていきませんか?!

②高齢化が進んでいく中で、病気になってから病院に行くことも大事ですが、日頃から自分の健康に留意して、できれば1年に一度はぜひ健康診断を受診してください。何よりも健康で生き生きとした毎日を送れることが何よりも一番大事なことです。

あと白浜はまゆう病院で何年お世話になれるかわかりませんが、在勤中は地域の皆様の健康と安心の為に、微力ながら邁進していこうと思います。

冬の感染症対策について

感染対策委員長 木村 泰典
(泌尿器科医長)

冬の時期に限らず、感染症に対する予防策で最も重要なことは正しい知識をもって感染対策にあたることです。必要とされる以上のレベルで滅菌・消毒を行っても、それは労力や経費の無駄であり、かえって有害な対策となる場合もあります。

感染予防策は大きく分けると標準予防策と感染経路別予防策の二つに分けられます。標準予防策とはすべての患者さんの血液・体液、分泌物、排泄物（これらを湿性生体物質と呼ぶ）には感染の危険があると見なす考え方で、湿性生体物質に触れたら手を洗う。それに触れそうなときは、手袋、マスク、エプ

ロンなどの防護具を着用し、防護具は使い終わったらその場で破棄してケアを行うことが基本となります。これはケアをする医療関係者を守るという意味だけでなく、他の人に感染を広げない、その場で感染を遮断することに繋がります。標準予防策はすべての患者さんに適応される方法で、感染経路別予防策は標準予防策にオプションとして追加されるものです（図1）。

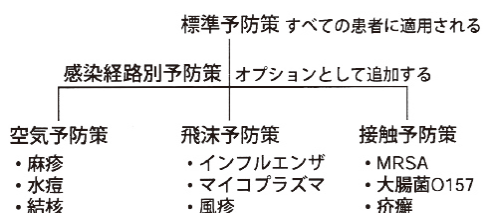


図1 予防策のシステムと主な適応疾患

感染症の成立には3つの因子が必要です。病院感染についていえば、①感染源患者、②感染経路、③感受性患者です。MRSA感染症を例にとってみると、①MRSA感染・保菌者、②感染経路、③重篤な基礎疾患をもつ免疫低下状態の患者となります。MRSA保菌者に対し、強力な対MRSA抗菌薬を投与し、一時的には除菌できたとしても、容易に再保菌することは日常の臨床の現場ではしばしば遭遇することです。MRSA感染症を起こすのは、重篤な基礎疾患を有するいわゆる免疫低下状態の患者さんであります。基礎疾患が重篤ならば患者さんの全身状態は容易に回復しがたく、患者さんの免疫能力を向上させるのも困難です。つまり、感染対策としてできることは「感染経路の遮断」しか残されていないことがよくわかんと思います。

感染経路には、空気、飛沫、接触、食事、昆虫などいろいろありますが、空気、飛沫、接触の感染経路が日常特に注意すべきものです。

みなさんは飛沫と飛沫核の違いをご存知でしょうか？飛沫とは患者の咳、くしゃみ、あるいはしゃべっているときに患者の口から撒き散らされる粒子（直径 $5\mu\text{m}$ 以上）です。飛沫は水分を含んでいるので、1mほどしか飛びません。一方、空気感染は飛沫核（直径 $5\mu\text{m}$ 未満）を介し

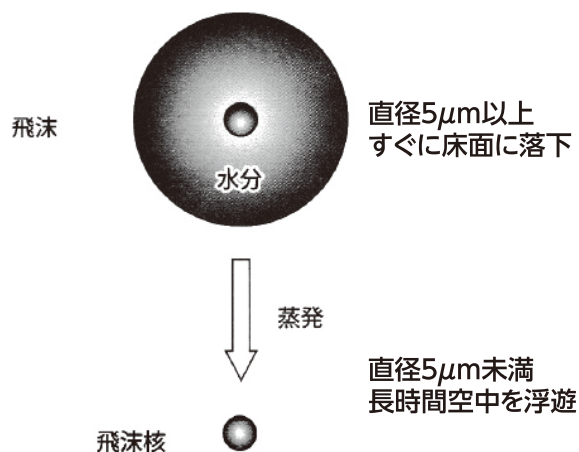


図2 飛沫と飛沫核の違い

て伝播します。飛沫核は空中に浮遊する塵埃のようなもので、これに菌やウイルスが付着しているとされます。飛沫核は軽いので、空中に長く浮遊し、拡散します(図2)。空気感染する疾患は主に3つあり、結核、水痘、そして今秋大流行がみられた麻疹(はしか)です。これらの患者は空調設備のある個室に隔離するなど特殊な対策が必要です。その他レジオネラ、アスペルギルス、クリプトコッカスは、空気感染によって引き起こされる感染症ですが、これらは感染力が弱く、患者から二次感染することはありません。

飛沫感染する疾患には飛沫予防策が適応されます。要点はサージカルマスク(平均 $4.0\sim 5.0\mu\text{m}$ の飛沫に含まれる細菌がマスクによって除去される割合が95%以上の基準を満たすマスク)の着用で、サージカルマスクは飛沫をほぼ100%阻止します。しかし、ガーゼマスクなどでは70%前後の阻止率しかありません。冬が好発時期となるインフルエンザは標準予防策+飛沫予防策を行うことが必要で、具体的には飛沫に直接暴露されないよう患者間は1m以上距離を置いたり、マスクを着用すること、石鹸と流水による手洗いをしっかり行うことが重要となります。

接触感染する疾患には接触予防策が適応されます。要点は患者さんをケアするときに、手袋とプラスチックエプロンを着用することで、患者さんから排泄される湿性生体物質に直接触れないことが重要です。布製ガウンは防水性ではないので、湿性生体物質の接触感染防止策としては推奨されません。ノロウイルス胃腸炎は冬の時期に好発する代表的な感染症ですが、標準予防策+接触予防策が推奨されます。ただしノロウイルスに関しては、嘔吐物等が乾燥するとウイルスは空中に漂い、これが口に入り感染することがあるので、嘔吐物や便を処理する際には、ガウン、マスク、手袋の順で防護具を装着し、0.1%次亜塩素酸ナトリウム液を使用するというような繊細な注意が必要となります。ノロウイルス胃腸炎を発症した場合は嘔吐・下痢などの胃腸炎症状が完全に治まって2日間が経過すれば、標準予防策をしっかりと行うことで、周囲へ感染を広げることはなくなりますが、発症後1から4週間はウイルスが継続的に排泄されるため、この期間は流水と石鹸を使った手洗いを遵守するように努めましょう。

感染対策の二本柱である標準予防策と感染経路別予防策(空気予防策・飛沫予防策・接触予防策)を理解していただけましたでしょうか?感染対策で重要なのは「感染経路の遮断」です。身の回りの環境を無菌にすることはできませんので、各個人がまず行うべきことは、敵を知り、感染経路を遮断すべく感染経路別予防策をとることです。そして感染経路の遮断には手洗いが最も簡単で効果的です。石鹸などの界面活性剤は脂溶性の相互作用で細菌やウイルスを落としやすくしてくれますので石鹸+流水の手洗い、あるいは手指が目に見えて汚れていない場合は速乾性アルコール製剤によるラビング法も有効とされていますので、冬の感染症対策としてぜひ励行するようにしましょう。

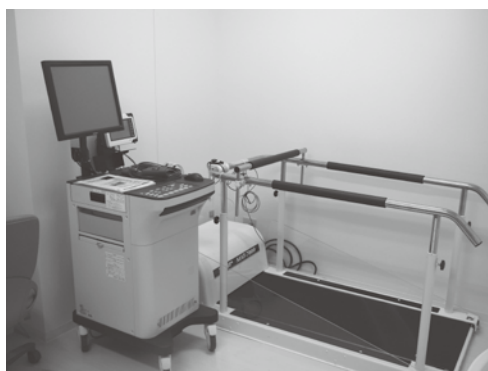


白浜はまゆう病院では このたび運動負荷心電図検査を開始します

内科(循環器外来) 岡 宏保 医長

通常の12誘導心電図検査を受けたことがある方も多いと思いますが運動負荷心電図検査を受けたことがある方はいらっしゃいますか？聞いたことも無い、という方もいらっしゃるかと思いますのでここで少し紹介をさせていただきます。

心臓は身体の隅々に血液を送るポンプとして24時間365日無休で活動し続けています(ちなみに通常24時間でおおよそ十萬回動いています)。その心臓の電氣的活動を記録したものが心電図です。通常12誘導心電図検査は安静状態で検査を行い心臓の電氣的活動を記録します。簡便かつ安全であるため心臓の検査としては最も汎用されている検査です。しかし心臓の病気には、狭心症のように安静時には症状が現れず労作時に初めて症状の出るものもあります。その場合、安静時に行う検査では異常が



医療用トレッドミル
ベルトの回転速度や傾斜を調整して
運動負荷量を調整していきます

検出できないことがありました。運動負荷心電図検査は身体に負荷をかけ、ひいては心臓に負荷をかけた状態の心電図を記録することで病気の発見、病状の把握、治療効果の確認等を行う検査であり冠危険因子を有する場合の潜在性、無症候性心筋虚血の診断に有効です。また運動負荷による不整脈の変化を診ることで運動と不整脈の関連のみならず不整脈の発現様式や機序の推定を行うことも可能です。最近では心機能評価や心臓リハビリテーション領域にも応用されています。

検査の方法

胸に心電図を、腕に血圧計を取りつけた状態で、回転するベルトの上を歩き続けて測定します。目標とする運動負荷量まで一定時間ごとにベルトの速度と傾斜を上げて運動量を増やしていきます。患者さんの体力・状態にもよりますが、実際に運動する時間は15分間前後で検査時間は、準備などを含め約30分を予定しています。最大心拍数(220-年齢)を越えたり二重積(double product; 心拍数×収縮期血圧)が20,000を越えた場合などは心臓に十分な負荷がかかったと判断し運動負荷を終了します。また胸に圧迫感や痛みなどの症状が起きた場合、その他スタッフが中止と判断した場合には検査を止めることがあります。



心電図、血圧計を付けて歩きます

どんな症状の方に勧められるか？

- ・糖尿病で治療を受けているが動脈硬化が心配
- ・不整脈があると言われたけれどスイミングを続けて良いかどうか心配
- ・運動すると動悸が気になる

他にも検査が勧められる方がいらっしゃいますので医師にご相談下さい。

危険性・合併症・副作用

運動負荷心電図検査に危険性があることは否定は出来ません。その症状としては血圧変動・めまい・動悸・失神・胸部不快感などがあります。心臓に負荷をかける検査ですのでその負荷が誘因となり狭心症の発症、さらに心筋梗塞を発症することもあります。日本心電図学会がまとめたデータでは緊急入院が43,000回の検査に1回、死亡が264,000回に1回起こるとされています。他にも転倒、それによる骨折などが起こることもあります。検査中は血圧、心電図波形を医師が常に見守り不測の事態に対応する体制にしています。

医学が日々著しく進歩していることは事実です。しかし心筋梗塞を発症した方のおおよそ15%は不整脈のために病院に到着する前に心停止に陥ってしまっています。6～7%の方は入院後1ヶ月以内にお亡くなりになってしまっています。日本人の死因第2位は心疾患です（不整脈、弁膜症等すべて含む）。心疾患で命を落とさないために運動負荷心電図検査を受けることを考えてみませんか？

岡医長の 外来診療日

月曜日 午前 受付 8時30分～11時30分(予約診)

水曜日 午前 受付 8時30分～11時30分(初診も可)

木曜日 午後 受付 1時30分～ 4時30分(予約診)



各部署から

～医療の質管理室のご紹介～



医療の質管理室

医療の質管理室は、診療記録及び診療情報を適切に管理し医療の安全と質の向上を目的とした部署になります。診療情報管理士はそれらの業務を行う専門職となります。

医療においては、安全で質の高い診療・看護が常に必要とされますが、近年はとくに医療を受ける患者様・家族様の立場から安全で安心な医療が強く求められています。

診療情報管理は、実施された診断結果や治療内容など診療行為が正しく記載されているかなどの確認を行っております。さらにそれらが妥当で適切なものであったか検証・評価することで医療の質向上に繋がります。「診療情報の質」が病院の「医療の質」となります。

当院はDPC病院であり、入院費の請求は診断病名と診療行為の組み合わせの分類で決定されます。その分類に間違いがないかの最終確認を世界保健機構（WHO）により出版された分類本（ICD-10）などに基づき行っております。

また、病歴システムのデータベースに情報を登録することにより、様々な統計資料を作成することができます。病院運営の資料だけでなく、よりよい診療を行うための指標の作成・分析を行っております。その際は患者様の大切な個人情報管理する部署として、当院の個人情報保護方針に従い、診療に関する情報の取り扱いには十分に配慮して行っております。2015年度の病院指標を当院のホームページに掲載しております。

その他にも、公的機関からの病状照会、院内がん登録や診療情報管理委員会・倫理委員会等の事務局作業など患者様との関わりは少ないですが、院内の多職種と連携して医療・診療録の質向上に努めております。今後も医療の質管理室は、病院の円滑な運営や医療の質向上のため様々なデータ分析、監査を行っていきたいと考えております。

～『敬老の日』にかわいい訪問がありました～



9月16日（金）、敬老の日になみ院内保育所の園児たちがお年寄りの入院患者様に折り鶴をプレゼントしました！

子供たちは2チームに分かれて6病棟ぜんぶ回りました。可愛らしい子供たちの姿と一生懸命作った折り紙を見て、入院患者様にはお喜びいただけたのではないかと思います。

これからも患者様と園児がふれあう機会を作り、患者様がいやしのひと時を過ごしていただけるようにしていきたいと思います。今回の企画を立案・実行していただいた保育士のみなさん、どうもありがとうございました。



秋まつりを開催



今年もたくさんの方に参加していただきました

10月2日(日) 秋晴れというには暑いくらいの日差しの中、毎年恒例の秋祭りが南館玄関前広場、デイケアにて行われました。今回も100名を上回る患者様、ご家族様にご来場いただきました。患者様がご家族様と過ごしているのを拝見しましたが、やはりいつもの病棟での生活とは違い、表情穏やかに終始笑顔でお話されていたのが印象的でした。皆様から「楽しいわ」「おおきによ」との声も多く頂きました。これは、御多忙にも関わらずたくさんのご家族様に参加して頂けたからこそこの言葉であると受け止めております。

また、今年は深瀬龍好会による三味線や日舞など披露していただき、『ふるさと』や馴染みの歌を一緒に歌い、楽しい一時を過ごすことが出来ました。

今回の秋祭りで、患者様の笑顔や活気にふれる事が出来、皆様に喜んで頂ける余暇の提供がいかに大切であるかと、レクリエーションの大切さを改めて学ばせて頂きました。

こうして無事に秋祭りを出来たのは、来院して頂いたご家族様、快くコンサートを引き受けて頂いた深瀬龍好会の皆様、地域の皆様のおかげとスタッフ一同感謝しております。有り難うございました。



深瀬龍好会の皆様による素敵な演奏に、和ませて頂きました。

今後も今回の秋祭りのような、患者様の笑顔を引きだし満足していただけるようレクリエーションの実施に努めていきたいと思います。



レクリエーション委員
(南館5階病棟)

介護福祉士 上村 英輝

～第1回 認知症ケア研修を行いました～

本館5階 吉本 典子

今回、職員を対象に10月14日と28日に、テーマ「認知症ケアの課題」で中崎神経内科部長による研修会を開催し、合わせて107名の参加がありました。

内容は、1. 症状の捉え方 2. 病状毎の治療 3. 併発症の注意 4. 望ましい対応 5. 不眠不隠対策について大きく分けて5つの課題についてでした。映画にもなった「恍惚の人」「明日の記憶」を例に挙げて具体的な解りやすい内容でした。

私達医療従事者は、認知症について理解し受入れ、今までと変わらない生活ができるだけ長く続けられるよう支援し、寄り添う看護・ケアを行っていけるように努力していきたいと思っています。

今回は医師による研修でしたが、今後は多職種の立場から専門性を活かした関わりができるような研修会を継続しておこなっていきたいと思っています。

～医療倫理研修会を開催しました～

10月20日、白浜はまゆう病院教育委員会の主催による医療倫理研修会を開催しました。医療倫理に関する研修会は毎年実施しており、今年度は、白浜バプテスト基督教会牧師でNPO法人白浜レスキューネットワーク理事長でもあられる藤藪庸一氏を講師にお招きし『寄り添うって、どういうことだと思いますか?』をテーマにお話いただきました。



終業後の開催ですが101名が参加し、藤藪氏の今までの実例をもとにしたお話に聞き入りました。寄り添うということの難しさ、大切さを再確認する機会となりました。

～メンタルヘルス研修会を開催しました～

10月12日（水）、労働安全衛生委員会主催、森口浩司臨床心理士によるメンタルヘルス講習会を開催し、67名の職員が参加しました。

医療現場は特にストレスの強くなる職場だと言われています。ストレスに対して気づきをよくして、自分のこころの健康を保つこと、そして周囲の方のストレス状態に対しての気づきをよくして、職場のこころの健康を保ち、環境を良くすることがメンタルヘルス対策として大切になります。

今回の講習会では、ストレス状態への気づきをよくする、メンタルヘルスが崩れてきた場合の対処法を中心に講演していただきました。今後も職員のストレスマネジメントについて講演会や院内ホームページ等を通じて情報発信していきたいと思っています。

私たちが
おすすめする

カラダにいい とっておきレシピ

第26回



～トマト玄米雑炊～

忘年会、お正月、新年会、、、ついつい食べ過ぎ、飲み過ぎてしまったと思うことありませんか?! そんな時におすすめのレシピを紹介します。

食物繊維やビタミンB、E、解毒作用のあるフィチン酸を含むと言われる玄米を使った玄米粥を少しアレンジしてみました。

トマトは夏の野菜ですが、トマト缶を使えば年中栄養たっぷりの状態で食べる事ができます。身体を冷やしやすいトマトですが、温める効果のある生姜を入れると、より美味しく温まりますよ。



食養科 管理栄養士
崎下 舞

トマト玄米雑炊



材料	
玄米	45g (炊いたご飯のときは100g)
中華だし(顆粒)	3g
ホールトマト缶	50g
あさりの水煮缶	40g
白菜	50g
葉ねぎ	適量
生姜	1g
水	120ml
塩こしょう	お好みで適量

栄養価 (1人分)
エネルギー…228kcal
蛋白質…12.5g 脂質…2.3g
塩分…1.8g 食物繊維…2.8g

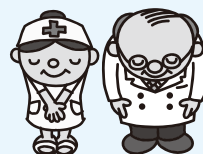
作り方

- ①白菜は一口大くらいに切る。ねぎは小口切りに、生姜は皮を剥きすりおろす。
- ②鍋に白菜、生姜、ホールトマト、あさりを入れ、白菜がしんなりするくらいまで炒めながら煮る。
- ③②に水、玄米(今回は炊きあがったご飯)、中華だしを加えて蓋をして炊く。
- ④ねぎを上にはらせば出来上がり。

患者さま からの 声 Voice

いつもお世話になりありがとうございます。一階のトイレの手洗い前のゴミ箱の位置を、二つあるシンクの中央に置いて下されば双方の手洗い利用者とともパーパー使用後の投入が可能になります。

A ご配慮が足りず申し訳ありませんでした。
清掃委託業者にもご意見を伝え、ゴミ箱の位置を変更するようにいたしました。
今後もご不便等、お気づきのことがございましたら、ご指摘いただけますようお願いいたします。



病院長

白浜はまゆう病院診療担当表

電話 **43-7880**(受付) **43-6200**(代表)

診 療 科			月	火	水	木	金	土
内 科	内科1(初診)	午前	伊藤 揚 荘	松本 潤	岡 宏保	山下 泰伸	赤松 功博	高村 竜一郎
		午後	(当面の間、休診)					
	内科2(再診)	午前	岡 宏保		松尾 晃次	松尾 晃次		
		午後	中村 信男			岡 宏保		
	内科3(再診)	午前			山下 泰伸			
		午後		阪越／須原		山崎 幸茂	山下 泰伸	
	内科4(再診)	午前			赤松 功博			
		午後	松本 潤	木下 正博		中川 武正		
	内科5(再診)	午前		伊藤 揚 荘	谷口 友志	伊藤 揚 荘	谷口 友志	
		午後		赤松 功博	谷口 友志	松本 潤	谷口 友志	
外科		午前	宮前 真人	宮前 真人	松本 辰也	宮前 真人	当番医	当番医
脳神経外科		午前				中北 和夫		
整形外科		午前	織田 一 貴	織田 一 貴	小池 達也	織田 一 貴	岩切 健太郎	
装具外来		午前		装具外来		装具外来		
小児科	午前	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋
	午後	古久保 和洋	古久保 和洋		古久保 和洋	古久保 和洋		
婦人科	午前	國部 久也	國部 久也	國部 久也				
	午後	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也		
皮膚科	午前						県立医大	
	午後		県立医大					
眼科		午後			井上／井上		井村 良子	
耳鼻咽喉科		午後				県立医大		
循環器外来	午後	岡 宏保		中村(第1・3・5)				
	午後	中村 信男	阪越／須原	中村 信男	岡 宏保			
呼吸器外来		午前		松尾 晃次	松尾 晃次			
アレルギー・呼吸器専門外来		午後			中川 武正			
泌尿器科外来	午前	木村 泰典	木村 泰典	川嶋 秀紀	木村 泰典	木村 泰典	当番医	
	午後	川嶋 秀紀		木村 泰典				
泌尿器科専門外来		午後		川嶋 秀紀		川嶋 秀紀		
神経内科・ リハビリテーション専門外来	午前	小口 健	廣西 昌也	中崎 繁明		中崎 繁明		
	午後	中崎 繁明	石口 宏		小口 健			
リウマチ外来		午前		小池 達也		小池 達也		
膠原病・糖尿病専門外来		午前		伊藤 揚 荘		伊藤 揚 荘		
消化器専門外来	午前			谷口／山下		谷口 友志		
	午後			谷口 友志		谷口／山下		
循環器・高血圧専門外来		午前					担当医(月2回)	

※火曜日午後 内科3診…第1(阪越 信雄)/第3(須原 等)※眼科…第1・3・5(井上 晃宏)/第2・4(井上 貴久彦)
※診療担当医が変更になることがあります。ご了承下さい。

2016.12.1～

	受付時間	診療時間	●休診 土曜日午後・日祝
午前(月～土)	8:30～11:30	9:00～12:00	
午後(月～金)	13:30～16:30	14:00～17:00	
循環器外来(月 第2・4水)	14:00～16:30	14:30～17:00	※診療時間外(夜間・休日)に 具合が悪くなったときは、 日時に関係なく受付します ので、白浜はまゆう病院へ 電話でご連絡ください。
循環器外来(火)	13:00～16:30	13:30～17:00	
皮膚科(火)	13:00～15:45	13:30～16:00	
眼科(水)	13:30～15:30	14:00～16:30	
耳鼻咽喉科(木)	14:00～16:30	14:30～17:00	
循環器・高血圧専門外来(土)	8:30～11:00	9:00～12:00	



公益財団法人白浜医療福祉財団

白浜はまゆう病院 ●理事長 井潤 誠 ●院 長 谷口 友志

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739(43)6200 FAX.0739(43)7891 【E-mail】info@hamayu-hp.or.jp 【URL】http://www.hamayu-hp.or.jp/

- 西 富 田 ク リ ニ ッ ク
- 鮎 川 診 療 所
- 日 置 診 療 所
- 三 舞 診 療 所
- 川 添 診 療 所
- 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン た ん ぽ ぽ

〒649-2334 和歌山県西牟婁郡白浜町才野1番地

〒646-1101 和歌山県田辺市鮎川583番地の3

〒649-2511 和歌山県西牟婁郡白浜町日置206番地の1

〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居3番地

〒646-0301 和歌山県西牟婁郡白浜町市鹿野1103番地

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739(45)3600 FAX.0739(45)3678

TEL.0739(48)0031 FAX.0739(48)1005

TEL.0739(52)2002 FAX.0739(52)4192

TEL.0739(53)0001 FAX.0739(53)0001

TEL.0739(54)0037 FAX.0739(54)0037

TEL.0739(43)5226 FAX.0739(43)0682